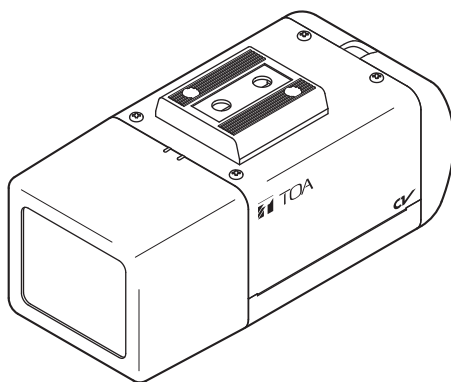


カラーカメラ
デイナイトカメラ
赤外デイナイトカメラ

C-CV170-3
C-CV170D-3
C-CV170S-3



このたびは、TOA カラーカメラ、デイナイトカメラ、赤外デイナイトカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目 次

安全上のご注意	4
使用上のご注意	6
概 要	7
特 長	7
各部の名称	8
設置のしかた	9
接続のしかた	10
同軸ケーブルの処理のしかた	10
3C-2V 使用のとき	10
5C-2V 使用のとき	10
7C-2V 使用のとき	10
レンズカバーとリアカバーの取り付け・取り外しかた	10
レンズカバーの取り付け・取り外しかた	10
リアカバーの取り付け・取り外しかた	11
接続例	11
マイクユニット(別売品)の取り付けかた	12
画角・フォーカスの調節のしかた	12
調整モードについて	12
カメラの調節のしかた	13
カメラ機能の設定のしかた	15
メニューキー	15
カメラメニューの基本操作	16
カメラメニュー画面(1 / 4)の設定	17
明るさの設定	17
シャッタースピードの設定	17
ホワイトバランスの設定	18
AGC の設定	18
スローシャッターの設定	18
デイナイトの設定(C-CV170D-3、C-CV170S-3 のみ)	19
IR LED の設定(C-CV170S-3 のみ)	20

カメラメニュー画面(2 / 4)の設定	21
画質補正の設定	21
霧補正の設定	23
ガンマの設定	23
色の濃さの設定	23
エンハンサーの設定	23
DNR (デジタルノイズリダクション)の設定	24
カメラメニュー画面(3 / 4)の設定	25
プライバシーマスクの設定	25
反転の設定	26
電子ズームの設定	26
カメラタイトルの設定	27
モーションディテクトの設定	28
カメラメニュー画面(4 / 4)の設定	29
特殊設定の設定	29
LANGUAGE の設定	30
初期化の設定	30
故障かな?と思ったら	31
仕 様	33
別売品	34
アフターサービスについて	35
機器保証書	36

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。

火災・感電の原因となります。



禁 止

設置場所の強度を確認する

取付金具類を含む全重量に十分耐えられる強度のある所に取り付けてください。

十分な強度がないと落下して、けがの原因となります。



強 制

振動のないところに設置する

取付ねじやボルトがゆるみ、落下などの事故の原因となります。



強 制

屋外に設置しない

本機は、屋内専用品です。

屋外で使用すると、部品の劣化により、機器が落下して、けがの原因となります。

また、雨などがかかると、感電の原因となります。



禁 止

万一、異常が起きたら

次の場合、電源の供給を中止して販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落したり、ケースを破損したとき
- 接続ケーブルが傷んだとき(芯線の露出、断線など)
- 音が出ないとき(別売のマイクユニットを使用している場合)
- 画面が映らないとき



強 制

内部に異物を入れない

本機の内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。



禁 止



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

内部を開けての作業は、専門業者にご依頼ください。



分解禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。



禁止

工事は販売店に相談する

取付工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。適切な工事を行わないと、落下して、けがの原因となることがあります。



強制

製品にぶら下がらない

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。

倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

定期的な点検をする

販売店に、定期的な点検を依頼してください。

取付金具類の破損や腐食などにより落下して、けがの原因となることがあります。



強制

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源の供給を中止してください。

守らないと、感電・火災の原因となることがあります。



強制

使用上のご注意

[設置に関して]

- 定電圧方式カメラドライブユニットに接続してください。方式の異なるカメラドライブユニットに接続すると、故障の原因となります。
- カメラケーブルを配線するときは、電気製品(蛍光灯)などの他の配線には近づけないでください。近づけて配線すると、画質の低下をまねくことがあります。このようなときは、配線を変えてください。
- テレビの送信アンテナやモーター・トランスなどの強い電界や磁界の近くでお使いになると、ビデオモニターの画面がゆがんだり、ゆれたりすることがあります。このような場合は、ケーブル専用の電線管を設けて通線してください。
- 別売のマイクユニットを使用するときは、エアコンの吹き出し口など、騒音の高い場所への設置は避けてください。
- ハウジングに入れて使用しないでください。赤外 LED の光の反射などにより、画質の低下をまねきます。(C-CV170S-3 のみ)

[使用環境に関して]

- 温度が -10℃～+50℃、湿度が 90% 以下(ただし結露のないこと)の場所で使用してください。
- レンズ面を太陽や強い照明・反射に向けないでください。CMOS センサー内部の色フィルターが劣化して、画像が変色することがあります。
- 強いショックや振動を与えないでください。故障の原因となります。
- 溶剤、薬品を扱う場所に設置しないでください。レンズカバーなどが変形、変色します。

[使用に関して]

- 本機を清掃するときは、カメラドライブユニットの電源を必ず切ってから、乾いたやわらかい布でふいてください。ベンジン・シンナー・アルコール類・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形、変色の原因となります。
- レンズにほこりがついた場合は、カメラ用のブロワーやレンズクリーニングペーパーで軽く清掃してください。
- レンズは精密部品です。ズームリング固定ねじ、フォーカスリング固定ねじ以外の部分(アイリス部など)には触れないようにしてください。故障の原因となります。
- 本機はローリングシャッター方式の CMOS センサーを採用しているため、速く動く被写体を映した場合や、旋回台に載せて高速で動かした場合に、画像がゆがむことがあります。また、一部の蛍光灯や LED 照明下では、画面横方向にノイズが発生することがあります。
- 本機の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害(営業損失などの補償)の責についてはご容赦ください。
- 個人情報について

本機または本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。*

法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

* 経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における「個人情報に該当する事例」を参照してください。

概 要

有効画素数が約 137 万画素の 1/3 型 CMOS を搭載したカメラです。

電源は、定電圧方式カメラドライブレユニットから供給します。

電源供給と映像出力の配線は、カメラドライブレユニットに接続する同軸ケーブル 1 本で済むため配線作業が容易です。

別売のマイクユニットを使用することで、音声も同軸ケーブルで多重伝送することができます。

特 長

● 3.5 倍バリフォーカルレンズ内蔵

自動絞り付きバリフォーカルレンズがカメラに組み込まれていますので、画角を調節することができます。

● 調整モード機能

カメラの画角・フォーカスを手動調整する際に便利な調整モードを搭載しています。このモードでは、被写界深度を浅くし、同時にフォーカスレベルを表示しますので、厳密なフォーカス調整を行うことができます。また、グリッド線が表示されますので、カメラを正しく水平に設置することができます。

● デイナイト機能(C-CV170D-3、C-CV170S-3 のみ)

デイナイト機能を搭載していますので、明るい場所ではカラーカメラ(デイモード)、暗い場所では高感度白黒カメラ(ナイトモード)として機能します。

● 赤外 LED 照明機能(C-CV170S-3 のみ)

ナイトモード時には、内蔵の赤外 LED 照明が点灯します。照明のない環境でも被写体を映し出すことができます。赤外 LED 照明の照射距離は約 30 m です。

● WDR 機能

WDR (ワイドダイナミック)機能を搭載していますので、建物のエントランスなど明るい屋外と暗い室内の両方が画面に入るような状況でも、黒つぶれや白飛びの少ない映像を得ることができます。

● 霧補正機能

霧などの影響で、映像の明暗差が少ない場合にコントラストを改善します。

● ノイズリダクション機能

ノイズを低減する 3 次元ノイズリダクション機能を搭載していますので、低照度時でもノイズの少ない映像を得ることができます。また、ノイズを低減することでデジタルレコーダーに効率よく録画できます。

● プライバシーマスク機能

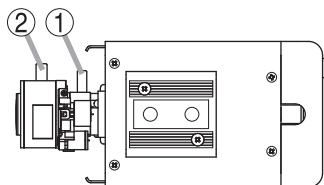
プライバシーマスク機能を搭載していますので、プライバシーに配慮したカメラ運用ができます。

● カメラメニュー

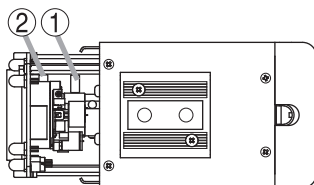
カメラメニューを搭載していますので、詳細なカメラの機能設定は、カメラメニューで調整できます。

各部の名称

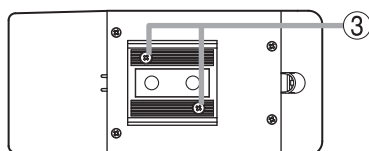
〔レンズカバーを外した上面図〕
C-CV170-3/C-CV170D-3



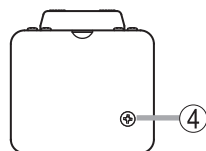
〔レンズカバーを外した上面図〕
C-CV170S-3



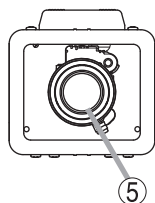
〔上面図〕



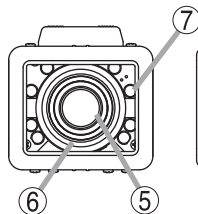
〔背面図〕



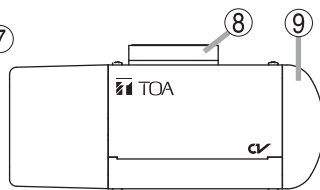
〔正面図〕
C-CV170-3/
C-CV170D-3



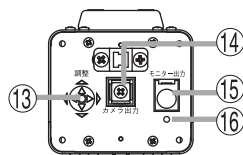
〔正面図〕
C-CV170S-3



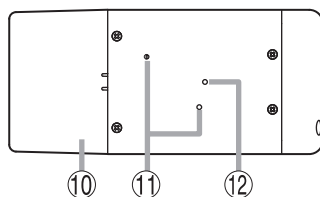
〔側面図〕



〔リアカバーを外した背面図〕



〔底面図〕



1. ズームリング（ズームリング固定ねじ）
2. フォーカスリング（フォーカスリング固定ねじ）
3. カメラ取付台固定ねじ
4. リアカバー取付ねじ
5. バリフォーカルレンズ
6. 遮光リング*
7. 赤外 LED *
8. カメラ取付台

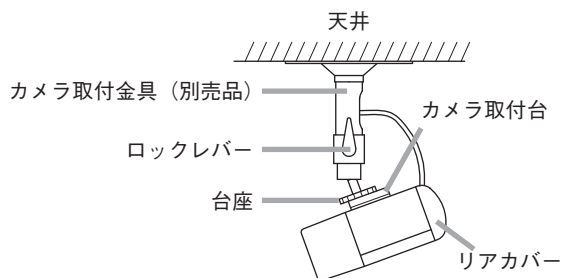
9. リアカバー
10. レンズカバー
11. カメラ取付台固定穴
12. マイクユニット固定穴
13. メニューキー
14. カメラ出力端子
15. モニター出力端子（RCA ピンジャック）
16. リアカバー取付ねじ穴

※ ⑪ と ⑫ の固定穴は、上下どちらの面にもあります。

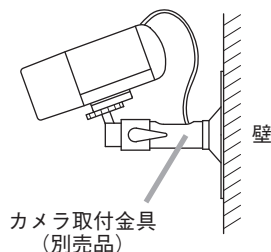
* C-CV170S-3 のみ

設置のしかた

〔天井取付例〕

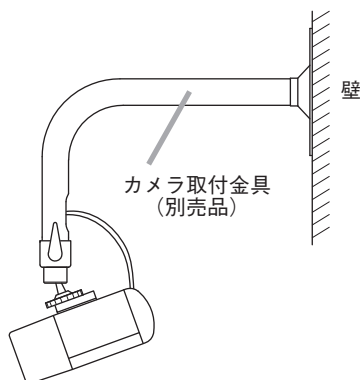


〔壁面取付例〕



⚠ 警告

取付金具類を含む全重量に十分耐えられる強度のある所に取り付けてください。
十分な強度がないと落下して、けがの原因となります。



1 別売のカメラ取付金具を天井や壁に取り付ける。

カメラ取付金具は電工ボックスなどを使って、金具に付属のねじで固定します。
このとき、同軸ケーブルをカメラ取付金具の穴に通してください。

2 カメラ取付金具の台座を回しながら、カメラ取付台のねじ穴にしっかりと締め込む。

メ モ

- カメラ取付台は、カメラの上側または下側に取り付けることができます。設置状態に応じて付け替えてください。
- カメラ取付台の取り外しと取り付けは、カメラ取付台固定ねじで行ってください。

3 同軸ケーブルを配線し、カメラの向きを決めて固定する。

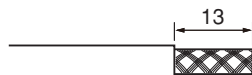
向きを決めた後、ロックレバーを回してカメラを固定してください。

接続のしかた

■ 同軸ケーブルの処理のしかた

● 3C-2V 使用のとき

1 ケーブル外被を先端から 13 mm のところまで取り除く。

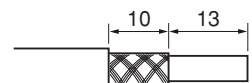


2 シールドを折り返してケーブルにかぶせ、絶縁体を先端から 8 mm のところまで取り除く。



● 5C-2V 使用のとき

1 ケーブル外被を先端より 23 mm のところまで取り除き、シールドを先端から 13 mm のところまで取り除く。



2 絶縁体を先端から 8 mm のところまで取り除く。



● 7C-2V 使用のとき

機器の近くで、5C-2V に変換して接続します。

■ レンズカバーとリアカバーの取り付け・取り外しかた

● レンズカバーの取り付け・取り外しかた

取り外すとき : レンズカバーの上下面をつかみ軽く押さえて手前に引っ張ります。

取り付けるとき : レンズカバーにある突起部の位置を確かめて押し込みます。

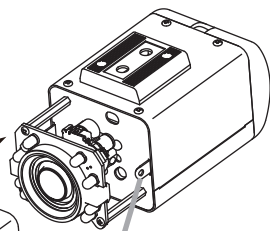
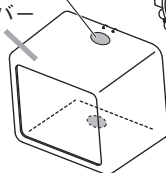
[レンズカバー内部]



突起部

レンズカバーを取り外すときは、この部分を押さえ（上下2カ所）手前に引っ張ります。

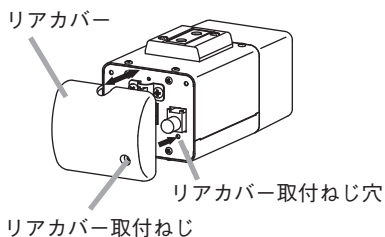
レンズカバー



突起部をはめ込む穴（左右）

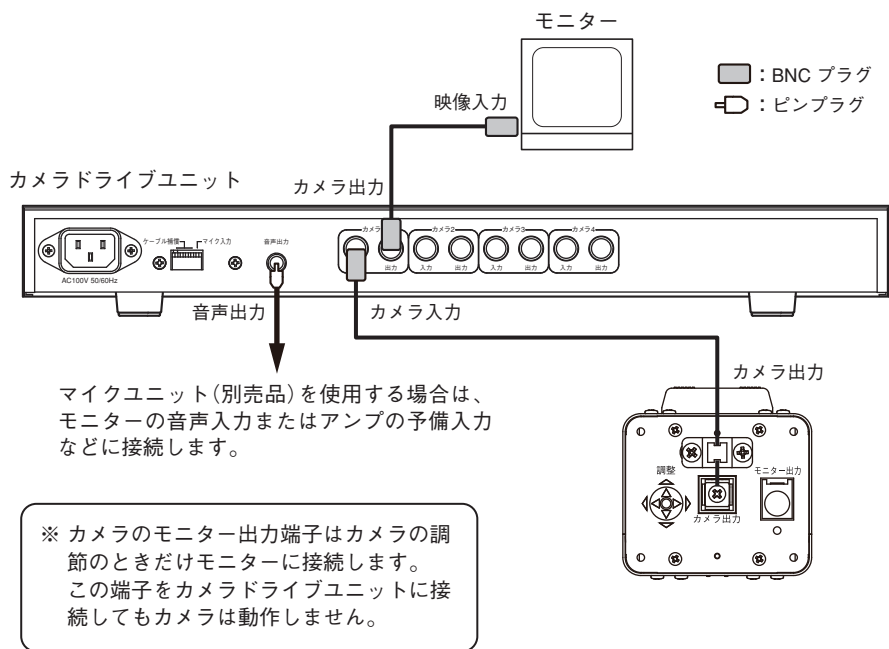
● リアカバーの取り付け・取り外しかた

リアカバーは、リアカバー取付ねじで固定されています。
カバーの取り外しと取り付けは、このねじで行ってください。



■ 接続例

- 定電圧方式カメラドライブユニットに接続してください。
方式の異なるカメラドライブユニットに接続すると、正常に動作しません。また、故障の原因となります。
- カメラを接続する前に、必ずカメラドライブユニットの電源を切ってください。
カメラドライブユニットの電源を入れたままカメラを接続してもカメラは動作しません。
このようなときは、再度電源を入れなおしてください。



ご注意

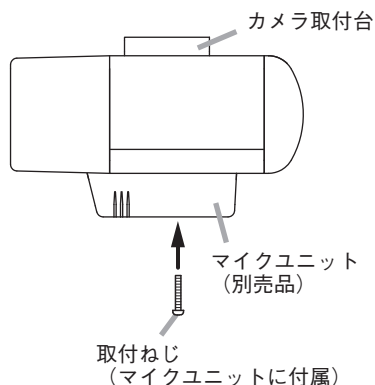
カメラドライブユニット(C-PV015、C-PV095)でカメラを動作させると、解像度は低くなります。

■ マイクユニット(別売品)の取り付けかた

マイクユニットは、付属の取付ねじでカメラに取り付けることができます。

※ マイクユニットは、カメラ取付台と反対の面に取り付けます。

※ マイクユニットの接続は、マイクユニットに付属の取扱説明書をお読みください。



■ 画角・フォーカスの調節のしかた

カメラの画角・フォーカスの調節を行うときは、調整モードを表示することで、より正確な調節ができます。

■ 調整モードについて

メニューキーを1秒以上「上」に倒すと、調整モードに入ります。

調整モードでは、グリッド線とフォーカスレベルが表示されます。

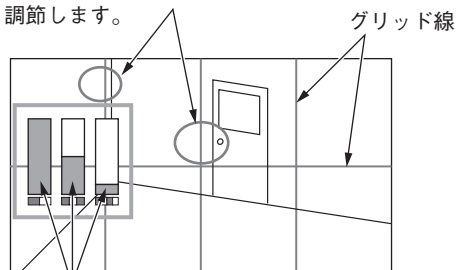
グリッド線に沿って被写体の縦と横を合わせることで、カメラの角度が調節しやすくなります。特に縦方向のグリッド線と、被写体の縦線を平行にあわせると、カメラを正しく水平に設置することができます。

フォーカスレベルが最大になるようにフォーカスリングを調整することで、より厳密なフォーカス調整を行うことができます。

調整モードは起動してから60秒経つと自動的に終了します。60秒以内に調整モードを終了したいときは、メニューキーを1秒以上「上」に倒します。



壁やドアの縦線をグリッド線（縦）と平行になるようにカメラの角度を調節します。



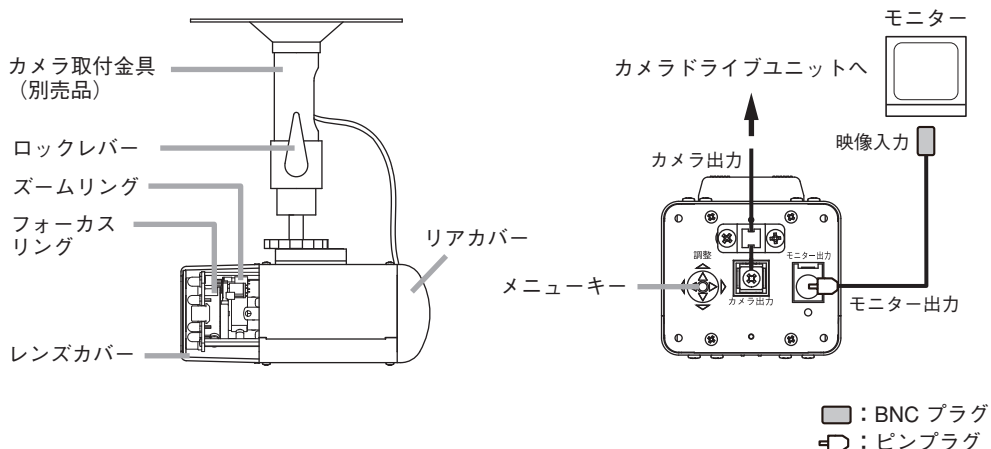
黄色の枠で表示される3本の棒線が最大になるようにフォーカスを調整します。（緑色の表示は最大値を示します。）

調整モードでは強制的に被写界深度が浅くなります。被写界深度が浅い状態でフォーカスを調節すると暗くなったときでもフォーカスがずれません。

ご注意

- 調整モード時に、照明によってはちらつき(フリッカー)が発生することがありますが故障ではありません。また、ちらつきによってフォーカスレベルが安定しないことがあります。このようなときは、実際の映像を見て、フォーカスを合わせてください。
- 暗い環境で、カメラがスローシャッター動作をしているときは、調整モードの起動に時間がかかることがあります。

■ カメラの調節のしかた



- 1 カメラ本体の接続が終わったら、カメラドライブユニットの電源を「ON」にする。
カメラに電源が供給されます。
- 2 カメラのモニター出力端子にモニターを接続し、モニターで映像が見える状態にする。
- 3 メニューキーを 1 秒以上「上」に倒し、調整モードに入る。

ご注意

調整モードは、起動してから 60 秒経つと自動的に終了します。もう一度調整モードを起動するときは、再度メニューキーを 1 秒以上「上」に倒してください。

4 カメラの角度を調節する。

カメラ取付金具のロックレバーをゆるめ、映したい方向にカメラを向けた状態でロックレバーを締め付け、しっかりと固定してください。

調整モードで表示されるグリッド線に沿って、水平・垂直を調節します。

5 レンズの調節をする。

5-1 ズームリング固定ねじとフォーカスリング固定ねじを緩める。

5-2 ズームリングで画角を調節する。

5-3 調整モードで表示されるフォーカスレベルが最大になるように、フォーカスリングで焦点を合わせる。

5-4 ズームリング固定ねじとフォーカスリング固定ねじを締める。

ご注意

- 赤外線投光器や、白熱灯、ハロゲンライトなどの赤外線領域の強い照明を用いて暗い場所を撮影する場合、被写体によりカラーモード・白黒モードが頻繁に切り換わることがあります。このようなときは、赤外線投光器や白熱灯、ハロゲンライトの角度などを変更し、赤外線光量を減らすように調整してください。
- 赤外 LED 点灯時、カメラと被写体との距離が近い場合(約 2 m 以下)、被写体によりカラーモード・白黒モードが頻繁に切り換わることがあります。このようなときは、カメラをできるだけ被写体から離して設置してください。(C-CV170S-3 のみ)
- レンズを広角端にセットしてナイトモードに切り換わった場合、映像の四隅にわずかなケラレ(白くなる)が発生することがありますが異常ではありません。気になる場合は、広角端から少し戻した画角で使用してください。
- 画角内または画角のすぐ外側(カメラからの距離が近い位置)に赤外 LED の光を反射するようものがある場合、ナイトモード時に映像が白っぽくなる場合があります。このようなときは、カメラの画角やレンズの画角を調整するか、IR LED の設定を「OFF」に切り換えて使用してください。(C-CV170S-3 のみ)

6 メニューキーを 1 秒以上「上」に倒し、調整モードを終了する。

7 すべての調節が完了したら、レンズカバーとリアカバーをカメラに取り付ける。

詳しくは、P. 10「レンズカバーとリアカバーの取り付け・取り外しかた」を参照してください。

カメラ機能の設定のしかた

■ メニューキー

メニューキーを使って、モニター画面上で以下のカメラ設定をすることができます。
カメラのメニュー画面は、以下の設定項目を表示する画面で構成されます。

カメラメニュー (1 / 4)

明るさ	(P. 17)
シャッタースピード	(P. 17)
ホワイトバランス	(P. 18)
AGC	(P. 18)
スローシャッター	(P. 18)
デイナイト	(P. 19)
IR LED	(P. 20)

カメラメニュー (2 / 4)

画質補正	(P. 21)
霧補正	(P. 23)
ガンマ	(P. 23)
色の濃さ	(P. 23)
エンハンサー	(P. 23)
DNR	(P. 24)

カメラメニュー (3 / 4)

プライバシーマスク	(P. 25)
反転	(P. 26)
電子ズーム	(P. 26)
カメラタイトル	(P. 27)
モーションディテクト	(P. 28)

カメラメニュー (4 / 4)

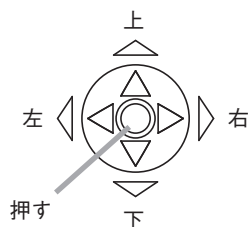
特殊設定	(P. 29)
LANGUAGE	(P. 30)
初期化	(P. 30)

■ カメラメニューの基本操作

カメラメニューはメニューキーを使用して設定します。

メニューキーの操作

カメラメニューの起動 : 長押し (1 秒以上押し)
設定項目、設定値の決定 : 押す
設定項目の選択 : 「上」、「下」に倒す
設定値の選択 : 「左」、「右」に倒す



1 メニューキーを長押し(1 秒以上押し続ける)する。

カメラメニュー画面に入ります。
選択状態になると、設定項目や設定値が黄色で表示されます。

ご注意

暗い環境で、カメラがスローシャッター動作をしているときは、カメラメニューの起動に時間がかかることがあります。

[選択状態]

設定項目	設定値	1 / 4
アカルサ	■■■■■■■■■■ 5	
シャッタースピード	ノーマル2	
ホワイトバランス	ATW1 >>	
AGC	HIGH	
スローシャッター	OFF	
デイナイト	AUTO >>	
IR LED	ON >>	
[ツギノページ]		
[マエノページ]		
[シュウリョウ]		

2 メニューキーを上、下に倒して、画面左側の設定項目を選択する。

3 メニューキーを右、左に倒して、設定値を選択する。

4 メニューキーを押して設定値を決定する。

「>>」マークがある設定値でメニューキーを押すと、詳細設定画面に変わります。

5 メニューキーを上または下に倒して「シュウリョウ」を選択し、決定する。

カメラメニュー画面を終了します。

ご注意 カメラメニュー画面は、60 秒間操作しないと自動的に終了します。

■ カメラメニュー画面(1 / 4)の設定

※ 設定値で下線のあるものは工場出荷時設定です。

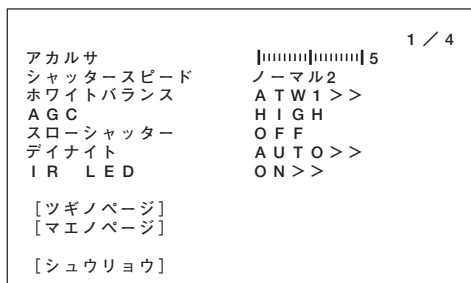
[カメラメニュー画面(1 / 4)]

● 明るさの設定

映像の明るさを設定することができます。通常はカーソルを中央の位置で使します。カーソルを右に動かすと映像が明るくなり、左に動かすと暗くなります。(工場出荷時：中央(5))

【ご注意】

WDR 機能が有効のときは、設定値にかかわらず、明るさは自動で制御されます。



● シャッタースピードの設定

シャッタースピードを設定することができます。

- | | |
|----------------|---|
| ノーマル 1 | ：低速シャッターの状態で作動します。小絞りボケの影響がない環境で、感度を優先したい場合に使用します。 |
| <u>ノーマル 2</u> | ：通常はこのシャッタースピードを使用します。「ノーマル 1」に比べ、小絞りボケを改善します。 |
| ノーマル 3 | ：「ノーマル 2」でも小絞りボケが改善されない場合に使用します。 |
| フリッカーレス | ：電源周波数が 50 Hz 地域で、蛍光灯などの照明のちらつき(フリッカー)や画面横方向のノイズが気になる場合に使用します。低速シャッターの状態で作動します。 |
| 1/60 ～ 1/32000 | ：シャッタースピードを固定します。高速で動く被写体のぶれを少なくしたい場合に使用します。 |
| AES | ：レンズの絞りを開放し、シャッタースピードを自動制御します。フリッカーがない環境で、「ノーマル 3」でも小絞りボケが改善されない場合に使用します。 |

【メ モ】

屋外などで非常に明るい被写体を映していると、レンズ絞りが絞られた状態になり、映像が全体的にぼやける小絞りボケと呼ばれる現象が起こることがあります。このようなときは、「ノーマル 2」、「ノーマル 3」または、「AES」に設定すると、小絞りボケを緩和することができます。

【ご注意】

- 「1/60」～「1/32000」のシャッタースピードを選択すると、カメラの感度が低くなります。また、スローシャッター (P. 18)は動作しません。
- 一部の蛍光灯や LED 照明下では、「ノーマル 2」、「ノーマル 3」、「フリッカーレス」、「AES」または、高速なシャッタースピードに設定すると、画面横方向にノイズが見られることがあります。故障ではありません。このような場合は、「ノーマル 1」を選択すると緩和されます。
- WDR 機能が有効のときは、設定値にかかわらず、自動で制御されます。

● ホワイトバランスの設定

ホワイトバランスを設定することができます。通常は「ATW1」で使用します。

ATW1>> : 被写体の色温度が変化したとき、それに合わせてホワイトバランスを自動で調整します。R オフセットで赤色の強さ、B オフセットで青色の強さを微調整できます。(工場出荷時: R/B オフセット中央(5))

ATW2>> : 被写体の色温度が変化したとき、それに合わせてホワイトバランスを自動で調整します。「ATW1」ではホワイトバランスを引き込みきれない場合に使用します。R オフセットで赤色の強さ、B オフセットで青色の強さを微調整できます。(工場出荷時: R/B オフセット中央(5))

AWB>> : カメラ設置時にホワイトバランスを設定します。被写体の色温度が変化しても設定したホワイトバランスで動作します。
単色の被写体が大部分を占め、「ATW1」や「ATW2」では画面上の色と実際の色の違いが気になるときや、被写体の色温度が頻繁に変化して、「ATW1」や「ATW2」では画面上の色バランスの変化が気になるときは、この設定を使用します。R オフセットで赤色の強さ、B オフセットで青色の強さを微調整できます。(工場出荷時: R/B オフセット中央(5))

マニュアル>> : 手動でホワイトバランスを設定します。R ゲインで赤色の強さ、B ゲインで青色の強さを調整します。(工場出荷時: R/B ゲイン中央(5))

ご注意

AWB に設定するときは、カメラメニュー画面(1 / 4)で「AWB」を選択し、白い被写体(白い画用紙など)を画面いっぱいに映した状態で、メニューキーを押してください。約10秒後にホワイトバランスが固定されます。

● AGC の設定

AGC を設定することができます。通常は「HIGH」で使用します。

夜間など、映像が暗くなったときにザラザラしたノイズが気になる場合は、設定を「MIDDLE」または「LOW」に変更すると、ノイズを弱めることができます。(工場出荷時: HIGH)

● スローシャッターの設定

スローシャッターの倍率(最大値)を設定することができます。

X2、X4、X8、X16 : スローシャッターの倍率(最大値)を選択した値に設定します。
X32、X64 : 被写体が暗くなると、設定した倍率まで自動でスローシャッターになり、映像が明るくなります。

OFF : スローシャッターを OFF にします。

ご注意

- スローシャッターは、撮像素子に光を蓄える時間を通常より長くすることで実現します。このため速く動く被写体に対しては、画像がぼやけてしまう残像現象が起こります。
- シャッタースピードを「1/60」～「1/32000」に設定している場合は、スローシャッターは動作しません。

● デイナイトの設定(C-CV170D-3、C-CV170S-3のみ)

デイナイトの切り換えを設定することができます。

AUTO>>：自動でデイモード(カラーカメラ)とナイトモード(高感度白黒カメラ)を切り換えます。デイモードとナイトモードが頻繁に切り換わってしまう誤動作を防ぐために、切り換わり時間とマージンを設定できます。

[ジカン(切り換わり時間)]

切り換わり時間とは、デイモードからナイトモード、ナイトモードからデイモードへ切り換わるのに要する時間です。「3 SEC」、「5 SEC」、「10 SEC」、「30 SEC」、「60 SEC」から選択することができます。

被写体の明るさが頻繁に変化する環境で、デイモードとナイトモードが頻繁に切り換わる場合は、長めに設定します。(工場出荷時：5 SEC)

[マージン]

マージンとは、デイモードからナイトモード、ナイトモードからデイモードへ切り換わる明るさの差です。「HIGH」、「MIDDLE」、「LOW」から選択することができます。

赤外光の影響などで、ナイトモードに変わったときに映像が明るくなりすぎて、デイモードとナイトモードが頻繁に切り換わる場合は、「MIDDLE」や「HIGH」に設定します。被写体が明るくなってもデイモードに戻りにくい場合は、「LOW」に設定します。(工場出荷時：LOW)

ON (B/W)：常時ナイトモード(高感度白黒カメラ)として動作します。

OFF：常時デイモード(カラーカメラ)として動作します。

【ご注意】

- 工場出荷時の状態の、シャッタースピードが「ノーマル2」、AGCが「HIGH」、デイナイトのマージンが「LOW」の場合、被写体が暗くなり約0.3 lxになると、デイモードからナイトモードに切り換わります。また、被写体が明るくなり約8 lxになると、ナイトモードからデイモードに切り換わります。
- 切り換わる明るさはシャッタースピードの設定、AGCの設定、デイナイトのマージンの設定、画角、被写体によって変化します。
- 赤外線投光器や白熱灯、ハロゲンライトなどの赤外線領域の強い照明を使用して暗い場所を撮影する場合、デイモードとナイトモードが頻繁に切り換わることがあります。このようなときは、以下の設定や設置の調整を行ってください。
 - ・ デイナイトのマージンの設定を「HIGH」や「MIDDLE」にする。
 - ・ デイナイトの設定を「ON」または「OFF」で使用する。
 - ・ カメラと被写体の距離を離す、または本機以外の赤外線投光器や白熱灯、ハロゲンライトの角度を変更して、赤外線光量を減らす。
- 映像の明るさを暗く設定した場合、ナイトモードに切り換わりにくくなることがあります。

● IR LED の設定 (C-CV170S-3 のみ)

赤外 LED 照明の設定をすることができます。

ON>> : ナイトモードに切り換わったときに、自動で内蔵の赤外 LED 照明を照射します。

[シロトビホセイ (白とび補正)]

カメラに内蔵された赤外 LED 照明による被写体の白とびを補正することができます。

OFF : 白とび補正を無効にします。

LOW : 白とび補正を有効にします。(弱)

HIGH : 白とび補正を有効にします。(強)

OFF : ナイトモードに切り換わっても赤外 LED 照明を照射しません。

■ カメラメニュー画面(2 / 4)の設定

※ 設定値で下線のあるものは工場出荷時設定です。

[カメラメニュー画面 (2 / 4)]

● 画質補正の設定

カメラの画質補正を設定することができます。

OFF : 画質補正を行いません。

WDR>> : 画面内に屋内と屋外などの明るさの違う部分があり、それらを両方映す必要がある場合に使用します。

	2 / 4
ガシツホセイ	OFF
キリホセイ	OFF
ガンマ	0.4 5
イロノコサ	5
エンハンサー	5
DNR	LOW
[ツギノページ]	
[マエノページ]	
[シュウリョウ]	

[WDR の設定]

ガシツホセイで「WDR>>」を選択し使用します。

LOW : WDR を有効にします。(弱)

MIDDLE : WDR を有効にします。(中)

HIGH : WDR を有効にします。(強)

ご注意

- 非インバーター方式の蛍光灯や一部の LED 照明などの下では、WDR 機能を有効にすると映像のちらつきやノイズが発生することがあります。このようなときは、「ギャッコウホセイ」や「E-WDR」を使用してください。
- WDR 機能が有効なときは、映像の更新スピードが 1/60 秒から 1/30 秒になります。また、明るさ、シャッタースピード、ガンマは設定値に関係なく自動で制御されます。

ギャッコウホセイ>>:

逆光になる被写体を映したときでも、被写体が黒くつぶれないように明るさを補正できます。

[逆光補正エリアの設定]

ガシツホセイで「ギャッコウホセイ>>」を選択した場合、逆光補正を行うエリアを任意の位置に設定できます。初期状態では右図の範囲に設定されています。

[逆光補正画面]		逆光補正の エリア
ギャッコウホセイ		
H	ポジション	3
V	ポジション	6
H	サイズ	1 3
V	サイズ	1 1
[マエノページ]		

- 1 ガシツホセイで「ギャッコウホセイ>>」を選択し、メニューキーを押して決定する。

逆光補正画面が表示されます。

2 逆光補正を行うエリアを設定する。

- 2-1 メニューキーを上、下に倒してポジションやサイズの設定項目を選択する。

- 2-2 メニューキーを右、左に倒してエリアを調整する。

H ポジション : エリアの位置を水平方向に移動します。

V ポジション : エリアの位置を垂直方向に移動します。

H サイズ : エリア右側を水平方向にサイズ調整します。

V サイズ : エリア下側を垂直方向にサイズ調整します。

E-WDR >> : 映像の明暗差を改善する機能です。画面内に明るい部分と暗い部分がある場合に、主に暗い部分が良く見えるようにコントラストを改善します。

[E-WDR の設定]

ガシツホセイで「E-WDR >>」を選択し使用します。

LOW : E-WDR を有効にします。(弱)

MIDDLE : E-WDR を有効にします。(中)

HIGH : E-WDR を有効にします。(強)

ご注意

- E-WDR を有効にすると、暗い部分にザラザラとしたノイズが気になる場合があります。このようなときは、E-WDR を弱めるか E-WDR を使用しないでください。
- E-WDR 機能では明暗差が補正できない場合は、WDR 機能を使用すると、より高い効果が得られます。

● 霧補正の設定

映像の明暗差を改善する機能です。

霧などが出て映像の明暗差が少なくなった場合に、コントラストを改善します。

OFF : 霧補正を OFF にします。

LOW : 霧補正を有効にします(弱)。

HIGH : 霧補正を有効にします(強)。

AUTO : 霧補正を自動制御します。

● ご注意

霧補正を有効にすると、ザラザラとしたノイズが気になる場合があります。このようなときには霧補正を「LOW」にするか「OFF」で使用してください。

● ガンマの設定

映像のガンマレベルを設定します。「0.45」、「0.50」、「0.55」、「0.60」、「0.65」から選択することができます。通常は「0.45」で使用します。

組み合わせるモニターの特性などによって、コントラストの改善が必要な場合に使用します。(工場出荷時：0.45)

● ご注意

WDR 機能が有効のときは、設定値にかかわらず、ガンマレベルは自動で制御されます。

● 色の濃さの設定

好みに合わせて被写体の色の濃さを設定することができます。

カーソルを右に動かすと色が濃くなり、左に動かすと薄くなります。

(工場出荷時：中央(5))

● エンハンサーの設定

好みに合わせて被写体の輪郭を強調することができます。

カーソルを右に動かすと輪郭が強くなり、左に動かすと弱くなります。

(工場出荷時：中央(5))

● ご注意

エンハンサーを強く設定すると、デジタルレコーダーなどで録画映像を再生した際に細かいノイズが目立つときがあります。このようなときは、エンハンサーを弱めに設定してください。

● DNR (デジタルノイズリダクション)の設定

低照度時の映像のノイズを抑えることができます。

- HIGH** : デジタルノイズリダクションを有効にします(強)。
被写体が暗くなった場合に出るノイズを抑制します。
- MIDDLE** : デジタルノイズリダクションを有効にします(中)。
被写体が暗くなった場合に出るノイズを抑制します。頻繁に動く被写体があり、「HIGH」ではぼやけたような映像になる場合に使用します。
- LOW** : デジタルノイズリダクションを有効にします(弱)。
被写体が暗くなった場合に出るノイズを抑制します。頻繁に動く被写体があり、「HIGH」や「MIDDLE」ではぼやけたような映像になる場合に使用します。
- OFF** : デジタルノイズリダクションを OFF にします。

■ カメラメニュー画面(3 / 4)の設定

※ 設定値で下線のあるものは工場出荷時設定です。

● プライバシーマスクの設定

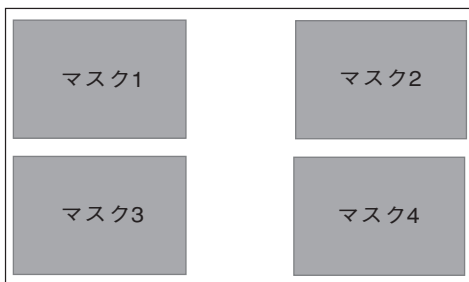
撮影場所の中に映したくない場所がある場合、マスクエリアを4カ所設定することができます。
(工場出荷時：4カ所ともOFF)

[カメラメニュー画面(3 / 4)]

プライバシーマスク	>>	3 / 4
ハンテン	OFF	
デンシズーム	OFF	
カメラタイトル	OFF	
モーションディテクト	OFF	
[ツギノページ]		
[マエノページ]		
[シュウリョウ]		

[プライバシーマスクエリアの選択]

初期状態では右図の範囲に設定されています。
マスクをかける位置に最も近いマスクの番号を選択し、マスクエリアを調節します。



[プライバシーマスクエリアの設定]

1 「プライバシーマスク>>」を選択し、メニューキーを押して決定する。

プライバシーマスク画面が表示されます。

[プライバシーマスク画面]

プライバシーマスク	
マスク1	ON>>
マスク2	OFF
マスク3	OFF
マスク4	OFF
レベル	4
[マエノページ]	

2 マスク1を「ON>>」にし、メニューキーを押して決定する。

プライバシーマスク1画面が表示されます。

3 マスクをかけるエリアを設定する。

3-1 メニューキーを上、下に倒してポジションやサイズの設定項目を選択する。

3-2 メニューキーを左、右に倒してマスクエリアを調整する。

H ポジション：マスクエリアの位置
を水平方向に移動し
ます。

V ポジション：マスクエリアの位置
を垂直方向に移動し
ます。

H サイズ：マスクエリア右側を
水平方向にサイズ調
整します。

V サイズ：マスクエリア下側を
垂直方向にサイズ調
整します。

[プライベートマスク 1 画面]

プライベートマスク 1			
H	ポジション	7	
V	ポジション	3	
H	サイズ	2	0
V	サイズ	1	6

[マエノページ]

4 エリア設定後、メニューキーを上、下に倒して「マエノページ」を選択し、メニューキーを押して決定する。

プライベートマスク画面に戻ります。

5 同様に、マスク 2～4 を設定する。

6 「レベル」を選択し、メニューキーを左、右に倒して、マスクの透過レベルを設定する。

すべてのマスクエリアの透過レベルが設定されます。(工場出荷時：レベル 4)

● 反転の設定

水平方向(H)、垂直方向(V)で画像を反転することができます。

OFF：反転機能を OFF にします。

H ハンテン：映像の左右を反転します。

V ハンテン：映像の上下を反転します。

HV ハンテン：映像の左右と上下を反転します。

● 電子ズームの設定

ズームするエリアを設定することができます。指定エリアを 8 倍まで拡大して映すことができます。通常は「OFF」で使用します。

OFF：電子ズームを OFF にします。

× 倍率：指定した倍率で電子ズームをすることができます。1.1 ～ 8.0 の倍率を選択できます。

● カメラタイトルの設定

最大 16 文字(数字・アルファベット・ひらがな・カタカナ・記号)のカメラタイトルを設定できます。また、表示位置を調整できます。

OFF：カメラタイトル表示を OFF にします。

ON：カメラタイトル表示を ON にします。

[カメラタイトルの入力のしかた]

カメラのタイトル文字を入力します。

- 1 カメラタイトルで「ON>>」を選択し、メニューキーを押して決定する。
カメラタイトル画面が表示されます。

- 2 「モジニュウリョク>>」を選択し、メニューキーを押して決定する。
文字入力画面が表示されます。

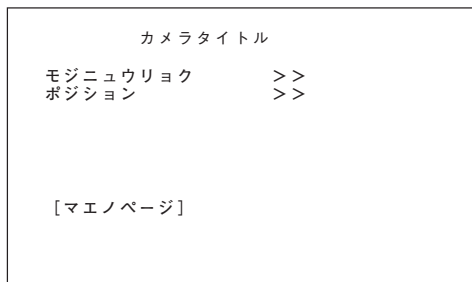
- 3 メニューキーで文字を入力する。
メニューキーを左、右に倒すと、文字の入力位置「*」が移動します。
メニューキーを上、下に倒すと、選んだ入力位置に文字が表示されます。
文字は、選択文字一覧の順番で表示されます。

- 4 タイトルの入力を終えたら、メニューキーを押して決定する。
カメラタイトル画面に戻ります。

- 5 「ポジション>>」を選択し、メニューキーを押して決定する。
ポジション画面が表示されます。

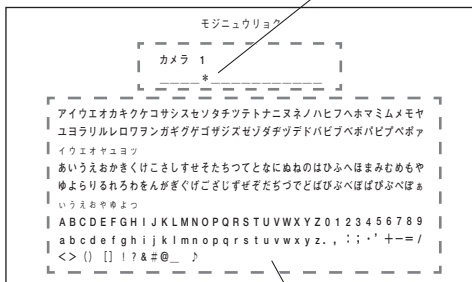
- 6 メニューキーを左、右に倒して、カメラタイトルを表示する位置を調整し、メニューキーを押して決定する。
(工場出荷時：中央下)

[カメラタイトル画面]



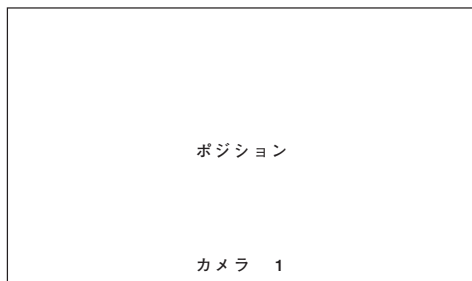
左右キーで
入力位置「*」を移動

[文字入力画面]



選択文字一覧

[ポジション画面]



● モーションディテクトの設定

モーションディテクトの設定ができます。通常は「OFF」で使します。

OFF : モーションディテクトを OFF にします。

ON >>: モーションディテクトを ON にします。

画面内で動きを感知すると、赤枠で表示します。

[モーションディテクトのエリアの設定]

モーションディテクトの設定で「ON >>」を選択した場合、モーションディテクトのエリアを任意の位置に設定できます。また、モーションディテクトの感度を設定できます。

- 1 モーションディテクトで「ON >>」を選択し、メニューキーを押して決定する。
モーションディテクト画面が表示されます。

- 2 「エリア>>」を選択し、メニューキーを押して決定する。
エリア画面が表示されます。

- 3 モーションディテクトを行うエリアを設定する。
初期状態は右図の範囲で設定されています。

- 3-1 メニューキーを上、下に倒して位置やサイズの設定項目を選択する。

- 3-2 メニューキーを左、右に倒してエリアを調整する。

H ポジション : エリアの位置を水平方向に移動します。

V ポジション : エリアの位置を垂直方向に移動します。

H サイズ : エリア右側を水平方向にサイズ調整します。

V サイズ : エリア下側を垂直方向にサイズ調整します。

- 4 メニューキーを上、下に倒して「マエノページ」を選択し、メニューキーを押して決定する。

モーションディテクト画面が表示されます。

- 5 メニューキーを上、下に倒して「カンド」を選択し、メニューキーを左、右に倒して設定する。

設定を「MIDDLE」や「LOW」に変更すると、感度が低くなります。(工場出荷時: HIGH)

[モーションディテクト画面]

モーションディテクト	
エリア	>>
カンド	H I G H
[マエノページ]	

[エリア画面]

エリア		
H	ポジション	1
V	ポジション	1
H	サイズ	5 8
V	サイズ	3 8
[マエノページ]		

■ カメラメニュー画面(4 / 4)の設定

※ 設定値で下線のあるものは工場出荷時設定です。

[カメラメニュー画面(4 / 4)]

● 特殊設定の設定

キズ補正、カラーバー出力を設定できます。
カメラのファームウェアのバージョンの確認
ができます。

キズ補正

CMOS センサーの画素欠陥を補正します。
キズ補正画面の「ホセイカイシ」で
「ON>>」を選択し、メニューキーを押
すと、キズ補正を開始します。キズ補正
終了後、特殊設定画面に戻ります。

メモ

通常はキズ補正を行う必要はありません。
経年変化などで、画素欠陥が目立ってきた
ときに、キズ補正を行ってください。

カラーバー

テスト用のカラーバー信号を出力しま
す。同軸ケーブルの異常などを確認する
ために使用します。

OFF : カメラが撮影している映像を出
力します。

ON : カラーバーを出力します。

バージョン

ソフトウェアのバージョンを表します。

トクシュセツテイ	>>	4 / 4
LANGUAGE	J A P A N E S E	
ショキカ	>>	
[ツギノページ]		
[マエノページ]		
[シュウリョウ]		

[特殊設定画面]

トクシュセツテイ	
キズホセイ	>>
カラーバー	O F F
バージョン	1.0.0
[マエノページ]	

● LANGUAGE の設定

カメラメニュー画面の表示を日本語または英語にすることができます。

JAPANESE : 日本語表示に設定します。

ENGLISH : 英語表示に設定します。

● 初期化の設定

カメラメニューの設定値を初期化します。

NO : 初期化を行いません。

YES : 初期化を行います。すべての設定を工場出荷時設定に戻します。

[初期化の実行]

1 「シヨキカ>>」を選択し、メニューキーを押して決定する。

初期化画面が表示されます。

2 メニューキーを左、右に倒して「YES」を選択し、メニューキーを押して決定する。

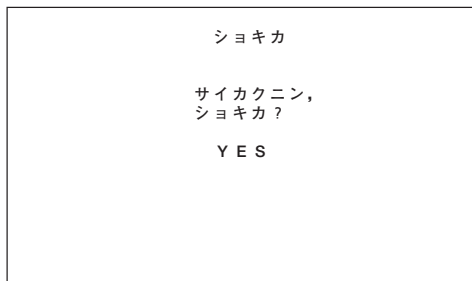
初期化を実行します。

ご注意

初期化を行ったとき、映像信号が一瞬途切れることがあります。

デジタルレコーダーなどに接続している場合は、ビデオロスアラームや異常ログとして検知してしまいます。

[初期化画面]



故障かな？と思ったら

症 状	調べるところ	対 処
カメラが映らない。	ケーブルは正しく接続されていますか？	正しく接続してください。
	アナログ方式に対応したデジタルレコーダー、カメラドライブユニット、およびモニターを使用していますか？	HD-SDI 方式または EX-SDI 方式の機器に接続しても映像は映りません。アナログ方式の機器に正しく接続してください。
	定電流方式カメラドライブユニットに接続していませんか？	定電圧方式カメラドライブユニットに接続してください。
	カメラを接続してからカメラドライブユニットの電源を入れましたか？	電源を切り、再度電源を入れてください。
映像がはっきりしない。	レンズの焦点は合っていますか？	レンズの調節をしてください。
	レンズやレンズカバーが汚れていませんか？	カメラ用ブロワーやレンズクリーニングペーパーなどで、汚れを清掃してください。
	ケーブルの延長距離は規定値以内ですか？	規定された最大延長距離以内で使用してください。ケーブルの種類によって最大延長距離は変わります。詳しくはカメラドライブユニットの取扱説明書をお読みください。
	モニターや録画装置は正しく設定されていますか？	モニターや録画装置の取扱説明書に従い設定してください。
ナイトモード時に映像がはっきりしない。	レンズ周囲にある遮光リングが外れたり、ずれたりしていませんか？ (C-CV170S-3 のみ)	遮光リングを正しくセットしてください。(C-CV170S-3 のみ)
	レンズやレンズカバーが汚れていませんか？	カメラ用ブロワーやレンズクリーニングペーパーなどで、汚れを清掃してください。
	カメラハウジングに収納して使用していませんか？ (C-CV170S-3 のみ)	カメラハウジングに収納する場合は、カメラメニューの IR LED 設定を「OFF」にしてください。(C-CV170S-3 のみ)
蛍光灯下で映像がちらつく (50 Hz 地域)。	カメラメニューのシャッタースピードの設定が「フリッカーレス」になっていますか？	商用電源が 50 Hz の地域では、蛍光灯下で映像がちらつくことがあります。このようなときは、カメラメニューのシャッタースピードの設定を「フリッカーレス」にしてください。
シャッタースピードの設定が「フリッカーレス」になっていても蛍光灯下で映像がちらつく (50 Hz 地域)。	画質補正の設定が「WDR」になっていませんか？	シャッタースピードが「フリッカーレス」に設定されていても、ワイドダイナミック機能が働くと、蛍光灯のちらつき (フリッカー) が気になることがあります。ちらつきが気になる場合は、画質補正の設定を「WDR」以外にしてください。

症 状	調べるところ	対 処
シャッタースピードの「ノーマル」と「フリッカーレス」を正しく設定しているのに画面横方向にノイズが出る。	カメラのシャッタースピードが「高速」に設定されていませんか？	ローリングシャッター方式のCMOSセンサーを使用しているため、高速なシャッタースピードに設定すると、一部の蛍光灯やLED照明下では画面横方向にノイズが見られることがあります。故障ではありません。 「ノーマル1」、「フリッカーレス」、または、低速のシャッタースピードに設定すると改善することがあります。(P. 17「シャッタースピードの設定」)

仕 様

品 番	C-CV170-3	C-CV170D-3	C-CV170S-3
電 源	カメラドライブユニットから DC 電源供給(定電圧)		
消 費 電 力	3.0 W	3.0 W	3.5 W
撮 像 素 子	1/3 型 CMOS		
有 効 画 素 数	1305 (H) × 1049 (V)、137 万画素		
走 査 方 式	プログレッシブ		
走 査 周 波 数	水平：15.734 kHz、垂直：59.94 Hz		
モ ニ タ ー 出 力	VBS1.0 V(p-p)、75 Ω、RCA ピンジャック、NTSC 方式		
カ メ ラ 出 力	VBS1.0 V(p-p)、75 Ω、M3 ねじ端子、NTSC 方式		
同 期 方 式	内部同期		
解 像 度 (中 心 部)	水平：800 TV 本(標準)、垂直：400 TV 本		
S N 比	50 dB		
最低被写体照度	0.1 lx (50 IRE、カラー、スローシャッターOFF時) 0.02 lx (20 IRE、カラー、スローシャッターOFF時) 0.00031 lx (20 IRE、カラー、スローシャッター64 倍時、換算値)	0.1 lx (50 IRE、カラー、スローシャッターOFF時) 0.02 lx (20 IRE、カラー、スローシャッターOFF時) 0.00031 lx (20 IRE、カラー、スローシャッター64 倍時、換算値) 0.01 lx (50 IRE、白黒、スローシャッターOFF時) 0.00016 lx (50 IRE、白黒、スローシャッター64 倍時、換算値)	0.1 lx (50 IRE、カラー、スローシャッターOFF時) 0.02 lx (20 IRE、カラー、スローシャッターOFF時) 0.00031 lx (20 IRE、カラー、スローシャッター64 倍時、換算値) 0.01 lx (50 IRE、白黒、スローシャッターOFF時) 0.00016 lx (50 IRE、白黒、スローシャッター64 倍時、換算値) 0 lx (50 IRE、白黒、スローシャッター OFF、赤外 LED 点灯時)
ダイナミックレンジ	46 dB 以上(逆光補正：ワイドダイナミック設定時)		
画 質 補 正	OFF / WDR / ギャッコウホセイ / E-WDR		
シャッタースピード	ノーマル 1、ノーマル 2、ノーマル 3、フリッカーレス、1/60、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/8000、1/16000、1/32000、AES		
A G C	HIGH / MIDDLE / LOW		
感 度 ア ッ プ (スローシャッター)	OFF、2、4、8、16、32、64 倍		
ホワイトバランス	ATW1 / ATW2 / AWB / マニュアル		
焦 点 距 離	f = 2.8 ～ 10.0 mm		
最 大 口 径 比	1 : 1.4 ～ 2.4		
ア イ リ ス	オートアイリス		

品番	C-CV170-3	C-CV170D-3	C-CV170S-3
画角	水平：98.8°～28.8°、垂直：71.1°～21.6°、対角：131.5°～36.0°		
赤 外 LED 照 射 距 離	—	—	約 30 m (スローシャッターOFF時)
文 字 表 示	最大 16 文字(カタカナ、ひらがな、アルファベット、数字、記号)		
機 能	調整モード、明るさ(9 段階)、霧補正(OFF／LOW／HIGH／AUTO)、ガンマ補正(5 段階)、色の濃さ(9 段階)、エンハンサー (9 段階)、ノイズリダクション(LOW／MIDDLE／HIGH／OFF)、プライバシーマスク(4 カ所)、反転(左右／上下／回転)、電子ズーム(8 倍)、モーションディテクト(ON／OFF)	調整モード、明るさ(9 段階)、デイナイト切換(AUTO／ON／OFF)、霧補正(OFF／LOW／HIGH／AUTO)、ガンマ補正(5 段階)、色の濃さ(9 段階)、エンハンサー (9 段階)、ノイズリダクション(LOW／MIDDLE／HIGH／OFF)、プライバシーマスク(4 カ所)、反転(左右／上下／回転)、電子ズーム(8 倍)、モーションディテクト(ON／OFF)	
使 用 温 度 範 囲	-10℃～+50℃		
使 用 湿 度 範 囲	90%RH 以下(ただし結露のないこと)		
使 用 場 所	屋内		
仕 上	ケース : 表面処理銅板、クールグレー(マンセル 6.3Y 8.9/0.4 近似色)、塗装 レンズカバー : ABS 樹脂、クールグレー (マンセル 6.3Y8.9/ 0.4 近似色)、塗装 リアカバー : ABS 樹脂、クールグレー (マンセル 6.3Y8.9/ 0.4 近似色)		
寸 法	63 (W)×62.5 (H)×137.2 (D) mm		
質 量	280 g	280 g	300 g

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 別売品

カメラドライブユニット
マイクユニット
カメラ取付金具

アフターサービスについて

保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点があれば、お買い上げの販売店にお問い合せください。

● 保証書

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

● 保証期間中に修理を依頼されるとき

取扱説明書をお読みになって、ご不明な点やご不審な点があれば、お買い上げの販売店にご連絡ください。お客様が修理することはできません。

もし、機器をあけたり、内部に手を触れた場合は、保証期間中であっても保証の対象から外れますのでご注意ください。

● 保証期間経過後に修理を依頼されるとき

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理致します。

● 連絡していただきたいこと

住所・氏名・電話番号・製品名・品番・購入日・故障の内容や異常の状況。

機器保証書

品番	製造（ロット）番号		この保証書は、下記記載の内容により無償修理を行うことをお約束するものです。 お買い上げの日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
保証期間	お買い上げ日から 1 年間		
お買上日	□□□□ 年 □□ 月 □□ 日		
お客様様	ご住所	□□□□□□ TEL () -	販売店 住所・店名・TEL
	お名前	様	

上記保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から 1 年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、下記をよくお読みください。

<無償修理規定>

- 上記記載の保証期間内において、取扱説明書、本体注意ラベルなどに従った、正常な使用状態で万一故障した場合、お買い上げの販売店に修理をご依頼のうえ、修理に際して本書をご提示ください。お買い上げの販売店が無償修理を致します。
- 保証期間内でも、次の場合には有償修理になります。
 - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障または損傷。
 - お買い上げ後の輸送、移転、落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - 離島および離島に準ずる遠隔地への出張旅費および壁面・高所・難所に設置されている場合のセットの取り外し・取り付けを行った場合はそれに要する実費。
 - 自然消耗により部品を交換する場合。
 - 本製品に接続している当社指定以外の機器故障に起因する故障。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - 保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または、字句が書き換えられた場合。
- この保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ

- * 本製品の故障に起因する付随的損害についての保証はお受けできません。
- * この保証書は本書に明記した期間、条件の下において無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所・サービスステーションにお問い合わせください。

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル 0120-108-117	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。	ナビダイヤル 0570-064-475(有料)	
受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)	FAX 0570-017-108(有料)	
	※ PHS、IP 電話からはつながりません。	

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社



133-02-00258-00